

議事録

次の会議を開催した。

会議名	第12回藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会
開催日	2025年（令和7年）3月27日（木）14：40～14：59
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	行政総務課 企画政策課長、税制課長、財政課長、防災政策課長、市民自治推進課長、生涯学習総務課長、福祉総務課長、地域医療推進課長、子育て企画課長、環境総務課長、産業労働課長、建設総務課長、都市整備課長、道路河川総務課長、下水道総務課長、病院総務課長、消防総務課長、教育総務課長（欠席）
議 事	（1）前回会議の開催結果について （2）その他
内 容	1 開会 2 議事 （1）前回会議の開催結果について ＜内容＞ 事務局から資料1を確認するよう案内し、詳細説明については省略。 ＜主な意見等＞ なし。 （2）その他 ・「長期見通しに必要なデータリスト」及び「重点事業に係るEBPM・KPIの一覧」の更新等について ＜内容＞ 「長期見通しに必要なデータリスト」及び「重点事業に係るEBPM・KPIの一覧」の更新や総合指針事業集への掲載等について事務局から説明した。 ＜主な意見等＞ ○各事業の進捗や予算措置の有無に応じて、一覧にあるEBPMやKPIを見直す機会はあるか。 ⇒今後状況に応じて見直していくことになると考えているが、最初に設定したKPIの根拠と、その後どのような状況の変化によって見直したのか、という点については説明できるようにしておく必要がある。 ⇒定期的な修正の機会があるわけではない、という理解で良いか。 ⇒予算の重点化事業レビューや決算、予算編成等のタイミングに合わ

内 容	せて見直していくことになると考えている。 ○定性的な評価を行う事業が多い中、数値目標を立て、中間チェックするという流れで事業を検討することができたので、今後に向けて良いきっかけになったと感じている。 ⇒施策によっては、必ずしも明確な数値によらず、定性的に成果を説明ができるものもあると思うので、そのあたりのバランスを取り、柔軟に対応していくべきものだと考える。 ○部内ではE B P Mに対する職員の温度差があったように思うが、しっかりと事業の根拠になる数字を見つけ、ステークホルダーに示していくトレーニングになり、職員にE B P Mのマインドを浸透させていく上で効果があったと感じている。 ⇒新規事業の検討ではバックカスティングのアプローチも必要である。状況に応じて、柔軟に施策を検討できる体制が構築されることを期待したい。 ・今後の藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会の運営について ＜＜内容＞＞ 今後の藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会について、時機を見て意見交換を行う会議体として残し、次回の総合指針の見直しに向けて議論を深めていく予定である旨を事務局から説明した。 ＜＜主な意見等＞＞ なし。 3 閉会
------------	---